

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		企業等防災協定事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	1	危機管理・防災対策の推進	所属課	総務課	担当者名 栗木清智
	基本事業	2	災害時応急対策	所属班	交通防災班	(内線) 1223
				法令根拠	災害対策基本法	

予算科目	会計	1	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8	
										コスト削減優先度評価結果	-

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 S36 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
災害時に必要とする飲料水を取り扱う業者と協定を締結する
災害時の早期復旧のために市内建設業協会と協定を締結する

【業務の内容】
協定の内容について打合せ、調印式の実施、関係機関に連絡、調整

【予算の内訳】
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 菊池西部衛生(有)と汚泥の収集運搬等に関する協定を締結した。 熊本県14市と相互応援協定を締結した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度に合併した商工会に働きかけを行ない、協定締結に努める予定である。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 件 → イ 協定締結の働きかけを行った事業所数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	災害時に必要な物資、援助を受けることができる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → イ 市民
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	被害を最小限にとどめることができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 件 → イ 協定を結んだ事業所数
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → イ 自主防災組織率 % イ 避難計画における避難できる施設の機能が整っている施設の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移											
		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	0	0	0	0	0	0		0
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	4	4	4		
		延べ業務時間	時間		40	40	40	40	40		
(B)人件費計		千円	0	159	159	159	159	159	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	159	159	159	159	159	0		
活動指標	件		2	2	1	1	1	1	1		
対象指標	人		53303	54027	54518	54407	55124	55732			
成果指標	件		0	2	1	1	1	1			
上位成果指標	%		10.1	10.1	17.7	12.7	21.5	25.3			
	%		100	88.9	100	100	100	100	100		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
合併に伴い新たに平成18年度に各種企業と災害復旧等の協力を必要とするため事業の開始を行った

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
何時、どこで発生するかわからない地震がここ近年多発している。併せて台風、大雨災害も多発してきた

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・議会の一般質問で、災害用備蓄の目標値の設定及び近隣自治体で備蓄品の持ち合いの検討について、質問があった。
・災害協定で収集可能な物品、数量等の調査を行い、市がそろえるべき物品の把握を行う必要がある、との意見があった。

事務事業名	企業等防災協定事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「災害時に必要な物資、援助を受けることができる」が結果の「被害を最小限にとどめることができる」につながり、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 災害対策基本法では、地方公共団体は、災害の予防、拡大防止のために、地方公共団体の相互応援に関する協定書の締結や国民による自発的な防災活動の環境整備促進について、努めることを規定しており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象も意図も適切である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 他の事業所等への働きかけを行うことで、向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 廃止、休止することで、災害時での市の負担が増大する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業費はない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 協定を締結するのは市と業者であり防災知識を得ている職員でないと事業ができない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市全域・全市民を対象とした災害協定に関する事務であり、公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 有効性については、新たな事業所に協定を働きかけるなどしていくことで、成果の向上が図られる。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 災害時に早急な対応が必要であるため多くの事業所等と連携し、協力していくことで被害を最小限にできるので、災害協定については合併する商工会などに働きかけを行っていきたい。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	○																	
	維持																		
	低下																		

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
事業所等の理解と協力が必要。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	10	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)